



卒業生のワタシ★アクション!

クリエイティブな力で、 企業や岩手の魅力を伝えたい



在学生のワタシ★アクション!

世代や文化の多様性も 楽しめる地域をつくりたい

特集01 基盤教育

特集02 大学のウチガワをのぞいてみよう!!

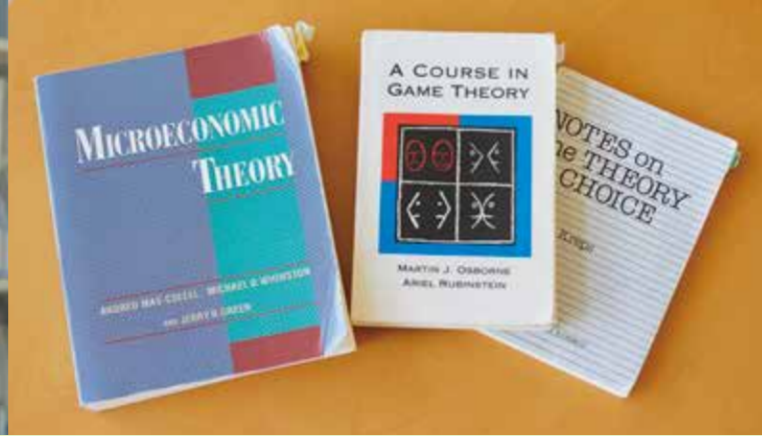
ラボ★アクション!

キャンパスフランス・オリエンタリング部

KENDAI NEWS

ケンダイ広報局

卒業生のワタシ★アクション!



小井田先生が研究活動で使っている書籍の一部

ラボ★アクション!

先生たちの 研究の流儀

地域のシンクタンクであり、多彩な学部を擁する岩手県立大学には、個性豊かな先生がたくさんいる。彼・彼女らがどんな想いを抱き、日々どんな研究に取り組んでいるのか。その横顔に迫ってみたい。



『ゲーム理論』の授業では、事例を盛り込みながら分かりやすく教えている。

大学の教育環境は世界レベル。もっと自分の可能性を信じ、学ぶことを楽しんでほしい。

盛岡第一高校時代は長髪のバンカラ姿。応援委員副団長や無線部部长を務めるほか、いろいろな活動に関わっていたという小井田伸雄先生。一番好きな科目は数学で、浪人を経て東京大学に入学。理学部で数学を学んだ。

しかし、周りは寝ても覚めても数学のことを考えている人ばかり。「自分はそこまで数学を好きではない」という挫折感から進

路を悩んでいたとき、「ゲーム理論」に興味を持った。

「ゲーム理論とは、経済や社会を駆け引きのある『ゲーム』だと捉えることで考察する経済理論。状況に応じてベストな選択をする」という考え方がおもしろいと思いました」と小井田先生。「経済学部に『ゲーム理論』の研究者がいる」と知り、大学院の経済研究科で学ぼうと決意。数学と並行して経済学の授業も履修し、進学をかなえて経済学研究の道を歩み出した。

「数学をはじめ心理学や社会学、政治学などさまざまな分野とも接点を持ちながら、人間や社会への洞察を深めるところが経済学のおもしろさ」と話す小井田先生。

2003年に岩手県立大学総合政策学部助手として赴任。現在は准教授として授業を受け持つ傍ら「意思決定理論」をテーマに研究に取り組んでいる。

2006年には「研究者としてのスキルを高めたい」と、アメリカのプリンストン大学に1年間留学。経済学賞をはじめノーベル賞受賞者を多数輩出しているトップレベルの研究環境に感銘を受けるとともに「県立大学のすばらしさも実感した」という。特にうちの少人数教育は世界レベルだと思いました。教員1人に対してゼミの学生が1学年5人程度という環境は、かなり恵まれている」と話す。

「教育環境だけでなく、学生たちもまじめで素直。ポテンシャルも非常に高いと思っています。けれどその伸びしろを生かしきれない、過小評価しがちな学生が多いかな」と小井田先生。「まじめ過ぎて失敗を恐れるところがあるので、もっと自分の可能性を信じてほしいの。」と語っています。でもそのためには『準備』も必要。しっかりと学び、自信を持っていろいろなことに挑戦してほしい」と学生たちにエールを送る。

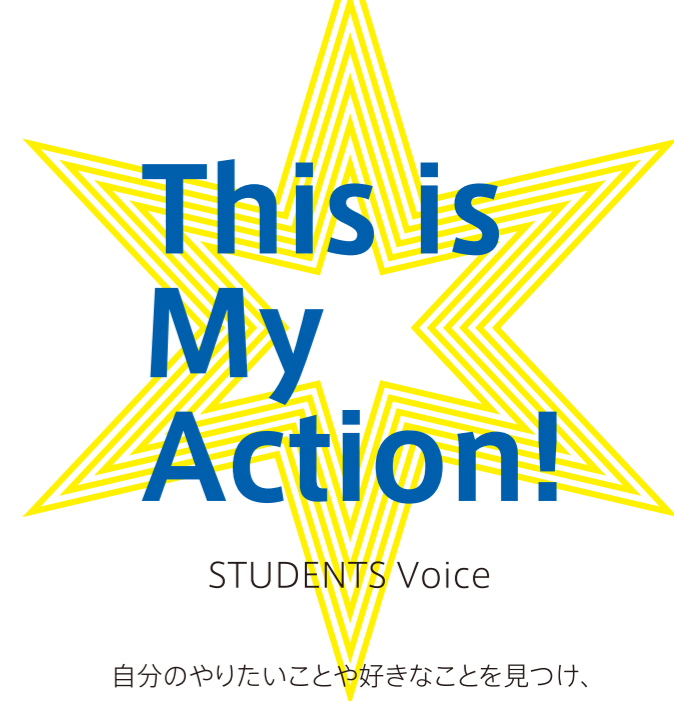
DATA

総合政策学部 小井田 伸雄 准教授

盛岡市出身。東京大学理学部数学科を卒業後同大学院経済学研究科に進学。2003年単位取得退学し(のちに論文を提出し博士号取得)岩手県立大学総合政策学部助手として赴任。講師を経て2008年に准教授となり、現在に至る。読書が趣味で、小説からエッセイ、ノンフィクションまで好きなジャンルは幅広い。またサッカー観戦歴も長く、20年以上スタジアムに足を運んでいる。現在ひいきにしているのは、もちろん地元のJ3チーム「グルージャ盛岡」。



未来をしっかりと見据えながら、チャレンジもできる。
それが短大のよさだと思います。



STUDENTS Voice

自分のやりたいことや好きなことを見つけ、その実現に向かって頑張っている学生たちがいる。彼らが何を思い、どんな行動を起こしているのか。一人ひとりの「ワタシアクション!」をご紹介します。

マーハー・パトリック先生と英語でディスカッションする畠山さん。TOEICの勉強にも熱心に取り組んでいる。

実は、岩手県立大学盛岡短期大学の国際文化学科は第一志望じゃなかったんです。でも英語が好きで国際分野にも興味があったし、大学に編入という選択肢もあるので「短大で学びながら進路を考えよう」と思いました。

入学してみると、英語、コミュニケーション、社会学など幅広く学べるし、先生もユニーク。将来の目標を明確に持っているクラスメイトも多く「私も頑張ろう」と励まされます。また学科独自のプログラムがあり、私はアメリカ・シアトルへの海外研修に参加。現地の大学生活やホームステイを経験しました。英語を学ぶ大切さを痛感し、アメリカが多文化社会であることも実感。国際文化を学ぶうえで貴重な経験ができたと思います。

ほかにも先生の勧めで盛岡市内の手づくり市「てららん」にボランティアとして参加。いろいろな世代がイベントを楽しんでいる様子に感動し、私も世代や文化が違っても楽しめる場や地域をつくりたいと考えようになりました。そんな思いから、短大修了後は4年制大学へ編入することを考えています。

盛岡短大にはキャリアデザインプログラムがあり、編入・就職どちらを希望してもサポートしてくれるので心強いです。また4年制大学と同じキャンパスにあるので他学部の学生と交流できるのもいい。ボランティアなどの活動も活発で、多様な視点や考え方に触れる機会がたくさんあります。今の短大生活が未来の糧となるよう、これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

ワタシ★アクション!

盛岡短期大学部 国際文化学科 2年

畠山 眞智 Machi Hatakeyama

1997年生、秋田県仙北市出身。大曲高校卒業。2016年に岩手県立大学盛岡短期大学部 国際文化学科に入学。ダブルダッチサークルに所属するほか、ボランティア、焼き鳥屋のアルバイトと忙しく活動中。趣味は映画鑑賞(洋画)で、英語の勉強も兼ね吹き替えなしで観る。好きな食べ物は母の作ったカレー、ハンバーグ、チョコレート、アイスクリーム。



..See You
Next
Action!

4年間の学びで基礎力をつけ 幅広い知識を自分のものに!

様々な学問への扉を開き、学生の基礎力を育む「基盤教育」。専門分野を学びながら興味のある多様な知識を吸収することができ、4年間を通じて継続的に学べる体制を整えている。昨年度から岩手県立大学では、「英語教育」を大きく刷新。大学独自の「いわて創造教育プログラム」と合わせて、基盤教育の特徴的な取り組みをご紹介します。



複数の学問領域に触れ、人間性や倫理性を高められる「教養科目」。写真は、「異文化接触と多文化共生」の授業。



フィールドワークを通して地域の現状を学び、課題解決に取り組む力を身につける「いわて創造学習」。



英語以外に、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語の6言語を学ぶことができる。



保健体育は「健康科学」と「体育実技」の2科目。スポーツを通じ、協調性やコミュニケーション力なども養う。



学生たちの基本スキルとして、基盤教育では英語力を重視。写真は、英語授業、アメリカでの短期語学研修、研修報告会の様子。



4つの科目群の学びを通じ 「知の基盤」を築いていく

学生たちの人生を豊かにし、幅広い知識や教養が身につく基盤教育。必修として学ぶ「基礎科目」と、それぞれの興味や目的に合わせて自由に選択できる「教養科目」、その他に「保健体育」と「外国語科目」の4つの科目群で構成されている。

大学で必要とされる基礎的能力を養う「基礎科目」は、英語・情報処理・入門演習・地域学習の4構成で、1・2年次が中心。英語では教養教育や専門教育の基盤となる英語力の習得を目指し、情報処理では「コンピュータソフトの使い方や情報倫理観の修得を。入門演習では学部教育の基礎スキルを、地域学習では地域課題の発見と解決方法を自ら考える力を身につけることができる。

1～4年次に学ぶ「教養科目」は、複数の学問領域に触れ、自身の興味を広げ、知識を深められる科目群。幅広い学問を学ぶことで、もの見方や考え方や、視野を広げられる「領域科目」、課題や事象について自ら考え、自分なりの答えを構築する「テーマ科目」、学外学習などで経験から学んだことを社会に役立てる「プロジェクト科目」の3構成。異なる学部の学生と一緒に学ぶため学生同士の交流が深まることも、専門以外の分野に触れることで学ぶ楽しさを知り、自分の志向や判断軸を形成することにもつながる。

英語のカリキュラムを一新、 少人数クラスで細やかに指導

グローバル化が進む現代において、英語力を身につけることは、多様な文化や価値観を持った人々を理解し、自分の考えを発信するために欠かせないスキル。そのため岩手県立大学では、「読む」「聞く」「書く」「話す」をバランスよく伸ばし、総合的に使いこなせる英語力の養成を目指している。

まず、学びの環境を整えるため、全学生にTOEICテストを実施。レベル別に3段階の少人数クラス（1クラス20名程度）に分け、きめ細やかな指導を行える体制を整えている。

基礎力を育む「英語基礎演習」の授業では、できるだけ多くの英語・英文・文法に触れながら、基本的な読解力やリスニング力を強化。さらにeラーニング形式で自主学習できるプログラムを導入し、オンライン配信される教材で多読、多聴、語彙、文法の反復演習ができるように工夫している。

「英語実践演習」では、基礎演習で習得した知識・技術を踏まえ、実際のコミュニケーションを想定した英会話のトレーニングを中心に指導。基礎と実践を効果的に融合した教育を行っている。さらに「応用英語」として、アメリカでの短期語学研修プログラムも開講。現地の学生と交流しながら、授業で習得した英語力に磨きをかけると同時に、異文化への理解を深めることができる。

企業と学生の共同開発の取り組み

学生のアイデアから生まれた「ばなちょ」、チョコバナナ味の「かもめの玉子」が大好評!

平成29年3月25日、さいとう製菓と総合政策学部の3年生(平成28年度)が共同開発した新たな「かもめの玉子」が販売された。その名は「ばなちょ」。ユニークなネーミングのこのお菓子は、商品企画から販売促進まで、すべて学生たちが手がけたもの。これは、就業力の育成を目的とした授業の一環で、学生が取り組み、その中から選ばれたチームが商品化に携わった。チョコバナナ味の「かもめの玉子」は、売れ行きも好調。新感覚のお菓子として、人気を呼んでいる。



岩手県立大学未来創造基金

基金創設から1年、多くのご厚意とご協力をありがとうございます!



大学の教育研究活動をさらに充実させていくために、平成28年度に創設された「岩手県立大学未来創造基金」。平成29年5月31日現在で、約90件、約930万円もの寄附が寄せられています。来年度は、創立20周年を迎える記念すべき年。ますます岩手の未来づくりに貢献する教育研究活動に力を入れてまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願い致します。

[基金のお問い合わせ先] 岩手県立大学総務室(管財契約グループ) TEL.019-694-2032 FAX.019-694-2001

[お申込み方法] 本学ホームページ、書面、電話、FAX 又は本学所定の払込取扱票にてお申込み・払込ください。

【岩手県立大学の基盤教育】

★基礎科目★

大学や社会で必要とされる基礎的な能力を養う科目。

- 英語/「読む」「聞く」「書く」「話す」力を強化し、総合的に使いこなせる英語力を養う。
- 情報処理/パソコンでのコンピュータソフト使い方や情報倫理観を修得する。
- 入門演習/所属学部の専門分野に必要となる、基礎的な学びのスキルを修得する。
- 地域学習/地域に実際に足を運び、地域課題の発見・解決方法を自ら考える。

★教養科目★

人間性、倫理性を高める豊かで幅広い教養を身につけられる科目。

- 領域科目/哲学、芸術学、歴史学、物理学など、幅広いジャンルの知識を学べる。
- テーマ科目/課題や事象に対して多角的・学際的にアプローチする思考過程を学ぶ。
- プロジェクト科目/「いわて創造学習」のように経験から学び、その学びを社会に活かす。

★保健体育★

心身の健康づくりの重要性を認識させるため、「健康科学」と「体育実技」の2科目を設置。実技では協調性やコミュニケーション能力なども養う。

★外国語科目★

中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語の6言語の科目を設置し、広い視野を養う。希望者は短期語学研修にも参加できる。

【学生からメッセージ】

昨年「いわて創造学習Ⅰ」を履修し、遠野市で1泊2日のフィールドワークに参加しました。企画した先輩たちの意識が高く、地域の課題解決のために様々な取り組みをしていることに刺激を受け、今年度は企画学生として雫石町のプログラムづくりに取り組んでいます。高校時代は地元に関心だったので、授業を通して改めて岩手を見直す機会をもらい、まだまだ知らないことがあることを実感。もっと様々な地域を回って視野を広げ、いずれはICTの技術を活用して地域課題の解決に取り組んでいければと考えています。



下屋敦 敬祐さん
(ソフトウェア情報学部2年)

もともと英語が好きなのですが、大学で学ぶ英語はリスニングやスピーキングが中心のため、授業自体が楽しいですし、会話が身につきます。でも日本にいただけでは実践的に英語を使う機会がありませんから、アメリカのオハイオ大学での短期語学研修に参加しました。英語も他言語も、使う対象は人。言葉を覚えることは、相手に対する思いやりであり、わかり合いたいという意思表示です。ソーシャルワークの現場も外国人が増えていますので、コミュニケーションの基本である英語を身につけることは、とても大切だと思っています。



高橋 健太さん
(社会福祉学部2年)

「地域」を共通のテーマとし、現場の課題に向き合う力を育む

早い段階から、地域課題やその解決に向けた住民の努力に触れることは、地域に対する目を開くと同時に、学生自身の未熟さを実感させ、今後何を学んでいくべきかを考えさせる貴重な機会。そこで本学では、「いわて創造教育プログラム」を導入し、「地域」を共通テーマに学部の枠を超えて学習する様々な授業を設けている。

1年次前期に全学部の学生が受講する「いわて創造入門」は、岩手県内の現状や地域課題などを踏まえながら、大学の特色や地域貢献の取り組みなどを理解する授業だ。昨年度は、岩手県知事や被災地で福祉職として働く卒業生の話などを聞き、今後の方向性について考える機会を設けた。

また「いわて創造学習Ⅰ」は、県内各地に

1・2年次の学生が赴き、1泊2日のフィールドワークを通して、地域について学ぶ授業。平成28年度は、住田町・西和賀町・田野畑村・遠野市の4コースを実施。地域の現状と課題に触れ、その解決方法を考察することにより、積極的な活動姿勢が身につく、学びに対する意欲が高まっていく。

さらに「いわて創造学習Ⅱ」では、学生自らが実地学習プログラムの企画立案を行い、実際にコーディネーターまで行うことが特徴。「いわて創造学習Ⅰ」を履修した上級生が、教職員やコーディネーターのサポートのもと、企画から実施まで成し遂げることで、マネジメントやコーディネートのスキルなどを体験的に習得することができる。このように早くから地域に向き合うことで、専門知識を学ぶ必要性を実感し、地域課題の解決に応用することを意識しながら専門科目を学ぶ姿勢が育まれるのである。

Campus Friends

Vol.12

オリエンテーリング部

県立大学のサークルや同好会、
学生会活動を紹介する「キャンパスフレンズ」。
生き生きと活動する学生たちの様子をチェックしてみよう。



DATA

オリエンテーリング部

平成12年創部、部員数22名(男子14名、女子8名)。練習は週2回行っており、木曜日は地図上のルートの取り方をシミュレーションし合う「地図読み」、土曜日は岩手大学のオリエンテーリング部と合同練習を行っている。

[練習日時] 木曜日(部室)18時~20時、土曜日(岩手大学グラウンド)9時~13時

○澤口部長よりメッセージ

「愉快的先輩たちがたくさんいて楽しいです。全員が初心者ですので初めてでも安心。やればやるほど、努力すればするほど、面白くなるスポーツですのでぜひ入部してください!」



オリエンテーリングは個人競技だが、部員たちが頑張る姿を見ると「自分も頑張らなきゃ」と励まされるという。

足が遅いのは不利じゃない、
勝つ可能性は誰にでもある

オリエンテーリングといえば、すぐ思い浮かぶのが地図とコンパス。子ども会のレクリエーションやボイスカウト活動の二環として、野山を歩き回ったことのある人はきっと多いはず。遊び的要素が強いと思っていたオリエンテーリングだが、実はこれ、立派なスポーツ競技である。

ルールは至って簡単で、野山の中に設置された目的の地点をたどっていく、ゴールまでのタイムを競うというスポーツだ。マラソンやクロスカントリーなどとは違い、より速いルートを自分で考えて進むところに大きな特徴がある。

「自然が好きでしたし、大学で新しいことを始めたいと思ったのが入部のきっかけです」と話すのは、オリエンテーリング部の部長を務める澤口未来さん(看護学部・3年)。ほとんどの部員が初心者のため、最初は先輩が付いて地図の読み方やコースの回り方などを指導。慣れてきたところで大会に出場し、自分の力で完走を試みるのが通常のステップだ。大会の会場も野山とは限らず、コースの距離によって公園や大学のキャンパスなど街中で行われるものもあり、大会別にいろいろな環境を楽しむことができるという。

「他のスポーツと違って、足が速くなくても勝つことができるのがオリエンテーリングの魅力。地図の読み方が優れていれば、逆転できる可能性も大いにあります。だから、最後の最後まであきらめないことが大事です」と澤口さん。走力や体格の優劣ではなく、走力と知力のバランスが必要とされるオリエンテーリング。それはまるで、知恵をフルに使って世の中を渡っていく「人生」にも通じるものがあるように感じた。

大学のウチガワをのぞいてみよう!!

悠々とした岩手山を背景に、美しい緑に彩られた岩手県立大学の滝沢キャンパス。でも学外の人々が、内部の様子を見る機会は意外と少ないもの。そこで今回は、知られざる「大学のウチガワ」に潜入取材!めったにお目にかかれない地下室から屋上の穴場まで、グルッとご紹介しよう。

※ご紹介する施設の利用、立ち入りについては、関係者限定としている場合があります。



学生ホール棟
お昼や休み時には多くの学生が行き交う、学内で一番にぎやかなスポット。カラフルな椅子やテーブルが並ぶラウンジ、食堂、売店などが設けられている。

見晴らしサイコー!



屋上テラス

図書館のあるメディアセンターの上には見晴らしのいいテラスを設置。勉強の合間の休憩スペースとして利用できる穴場的スポットだ。

テニスコート

へえー、こうなっているのか!!



地下ルーム

陸上競技場
1階から地下へと階段を降りていくと、そこは未知のアンダーグラウンド。大学内の電力供給や空調、冷暖房、給排水など、すべてを司る地下ルーム。震災時には発電機を稼働させ、心強くなり灯すとともに、暖房設備を運転することができた。



アクティブラーニングルーム
講義や演習等でアクティブ・ラーニング型の授業を行う際に活用できる新しいタイプの教室。学生のミーティング、自習、食事など、目的に応じてさまざまに活用することも可能なスペース。

体育館・プール

学食

メディアセンター

教室の出入り口は段差がなく、ドアもスライド式でスムーズ



みんなに優しいね!!

社会福祉学部棟



プレイルーム
保育士や幼稚園教諭を目指す学生の授業で使う教室。学生たちが子ども役と先生役に分かれ、子どもたちの遊ばせ方を学ぶ。



地域ケア実習室
自宅での介護を想定して、一般的な住宅の室内をリアルに再現。介護に適したバリアフリーデザインや在宅ケアなどについて学ぶ。



無響室

吸音構造によって音の反射がほとんどないため、実際に耳に響く音とは違うように聞こえるから不思議!補聴器測定など聴覚障害に関する研究が行われている。

基礎・成人・老年看護実習室



基礎・成人・老年看護実習室
実際の病室を想定して、看護技術を学ぶ実習室。マネキンを使って呼吸や心音を聞き取ったり、酸素吸入やたんの吸引など、様々な実習が行われる。

私たちが知らない場所もいっぱいあるね!

みんなでのぞきに行ってみよう!

エレベーターも各所にあるので便利!!



車いす対応のトイレは全棟に完備!

共通講義棟

本部棟



講堂
様々な説明会や講演会、セミナーをはじめ、大学祭では歌や芝居のステージとしても使われる。客席は3階まであり、999名収容できる。

各棟の出入り口は自動ドアで車いすにも対応。



ビスタルーム

共通講義棟の5階にあがると、そこはVIPをもてなすビスタルーム。リクライニングチェアに身を預け、美しい岩手山を眺めながらゆったりと話ができる贅沢な部屋。

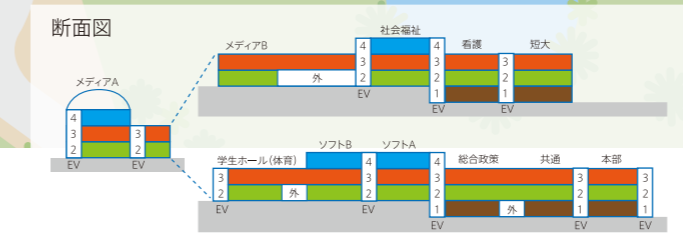


人間工学実験室



3次元実験室

まだまだ見どころたくさん!!





希望を胸に734名が新たな大学生活をスタート!
入学式が滝沢キャンパスでは岩手産業文化センター(アビオ)、宮古キャンパスでは体育館で行われました。新入生は、岩手県立大学、岩手県立大学大学院、盛岡短期大学の計632名、宮古短期大学は102名です。両キャンパスとも晴天の下、新たなスタートを迎えることができました。



今年も白熱した体育祭を開催!
体育祭実行委員会主催による、第9回体育祭が開催されました。雨天のため体育棟アリーナでの開催でしたが、玉入れ・障害物競争・長縄跳び、ムカデリレーに挑みました!優勝は合同チームです!!



宮古を知るツアー
宮古短期大学部協力会主催のミニツアーが開催されました。新入生に宮古市のことを知ってもらうと、企画いただいているものです。宮古市田老地区の震災遺構、浄土ヶ浜を巡りました。



平成29年度地方創生情報交換会
大学の地方創生支援チーム主催による、岩手県立大学平成29年度地方創生情報交換会が開催されました。多くの県内市町村担当者の方にお越しいただき、情報交換・情報収集の場となりました。

文部科学大臣表彰を受賞

ソフトウェア情報学部 新井 義和 准教授 が文部科学大臣表彰を受賞しました。2011年から開始した小学生向けの「家族ロボット教室」の活動が評価されたものです。この活動は産学官連携によるもので、同学部の今井信太郎講師をはじめとするのべ191名の本学教員・学生とともに実現しました。(受賞は他機関を含む3名の連名です。)



優秀学生賞授与式を行いました
平成28年度各年次終了時において、特に優れた学業成績を修めた方へ授与されるものです。鈴木厚人学長からは、「現状に満足せず先生方へたくさん質問し、学んでいって欲しい」とのお話がありました。

人事異動情報

平成29年3月31日付転出・退職

総務部/総合防災室/防災危機管理担当課(前 教育支援室/課長)	和田 英樹
岩手県監査委員事務局/監査第一課(前 教育支援室/主幹)	藤井 等
環境生活部/岩手県環境保健研究センター(前 教育支援室/主任主査)	藤原 友佳
政策地域部/国際室(前 教育支援室/主事)	高橋 美樹
岩手県教育委員会/岩手県立図書館(前 学生支援室/室長)	高橋 一教
岩手県人事委員会事務局/職員課(前 学生支援室/課長)	高井 知行
保健福祉部/子ども子育て支援課(前 学生支援室/主任主査)	中村 淳一
県南広域振興局/農政部/花巻農林振興センター(前 学生支援室/主任主査)	大石 明法
県北広域振興局/久慈審査指導課(前 学生支援室/主査)	小笠原 和夫
岩手県人事委員会事務局/職員課(前 研究・地域連携室/主任主査)	平野 朋子
環境生活部/岩手県立県民生活センター(前 企画室/主幹)	武田 顕
文化スポーツ部/文化振興課(前 企画室/主幹)	村上 郁子
盛岡広域振興局/経営企画部(前 企画室/主任主査)	齋藤 深雪
総務部/岩手県東事務所/企業立地観光部(前 総務室/室長)	山村 勉
医療局/職員課(前 総務室/主幹)	千葉 真樹
企業局/施設総合管理所(前 総務室/主任主査)	西川 恵理子
岩手県教育委員会事務局/生涯学習文化財課(前 総務室/主任主査)	熊東 勝
県北広域振興局/経営企画部/二戸地域振興センター(前 宮古事務局/主任主査)	賀谷 浩
県北広域振興局/土木部(前 宮古事務局/主任主査)	中村 栄一
退職(前 理事長)	高前田 寿幸
退職(前 宮古事務局/主事)	山崎 寛子

平成29年4月1日付転入・採用

理事長	遠藤 達雄
専務理事兼副学長(総務担当)兼事務局長	堀江 淳
教育支援室/課長(前 商工労働観光部/観光課)	山田 麻紀
教育支援室/主任主査(前 政策地域部/調査統計課)	福士 成幸
教育支援室/主査(前 政策地域部/調査統計課)	川村 美幸
教育支援室/主事(前 岩手県労働委員会事務局/審査調整課)	吉田 望美
学生支援室/室長(前 岩手県人事委員会事務局/職員課)	坊良 英樹
学生支援室/主任主査(前 環境生活部/若者女性協働推進室)	菊池 留依子
学生支援室/主査(前 総務部/法務学事課)	阿部 裕美
学生支援室/主査(前 政策地域部/調査統計課)	齊藤 美和子
学生支援室/主事(前 県南広域振興局/保健福祉環境部)	伊藤 紗優
研究・地域連携室/主幹(前 農林水産部/岩手県農林業技術センター)	大須 賀英春
研究・地域連携室/主事(前 沿岸広域振興局/農林部/宮古農林振興センター)	及川 健太
企画室/室長(前 岩手県教育委員会事務局/教育企画室)	菊池 正勝
企画室/主幹(前 岩手県教育委員会事務局/教育企画室)	高橋 永江
企画室/主幹(前 環境生活部/環境生活企画室)	佐藤 晃子
企画室/主事(前 県南広域振興局/農政部/一閑農村整備センター)	岩渕 沙織
総務室/主任主査(前 岩手県教育委員会事務局/教職員課)	森 光
総務室/主任主査(前 保健福祉部/長寿社会課)	高橋 由紀子
宮古事務局/主幹(前 総務部/総合防災室)	平藤 亙
宮古事務局/主査(前 沿岸広域振興局/経営企画部/宮古地域振興センター)	西澤 敬
宮古事務局/養護専門員(新採用)	山本 ヒデ

平成29年度岩手県立大学公開講座 (滝沢キャンパス講座)

岩手県立大学では、開学以来、大学の教育・研究の成果を広く還元し、県民の皆様の多様な学習ニーズに応えるとともに、地域社会の教育・学術・文化の発展に貢献することを目的に、毎年公開講座を開講し、お蔭様で延べ3万人を超える皆様にご受講いただいております。

今年度はテーマを「ここからはじまる、いわての未来」としまして、本学の講師 【 テ ー マ 】 「ここからはじまる、いわての未来」陣から、専門的な立場でお話しします。世界の未来、日本の未来、そして岩手 【 開 催 期 間 】 7月22日、29日、8月5日(土曜日・全7講座)の未来について、より深く知り、考える機会としていただければ幸いです。どな 【 受 講 料 】 受講回数に関わらず一律1,000円 ※高校生以下の方は無料です。 【 開 催 場 所 】 岩手県立大学滝沢キャンパス(滝沢市巣子152-52) 【 お 問 合 せ ・ お 申 込 】 岩手県立大学研究・地域連携室 TEL.019-694-3330 E-mail:koukaikouza@ml.iwate-u.ac.jp

- 7月22日(土) ■ 講座 1 13:15~14:30 地域住民の食と健康への衛生・公衆衛生学的挑戦 講師:千葉啓子(盛岡短期大学部・教授)
 - 講座 2 15:00~16:15 さんりく沿岸の復興計画の3Dモデル化とその応用 講師:土井章男(ソフトウェア情報学部・教授)
 - 7月29日(土) ■ 講座 3 10:30~11:45 地域包括ケアシステムにおける住民の主体的活動をどのようにして促進していくか 講師:佐藤哲郎(社会福祉学部・准教授)
 - 講座 4 13:00~14:15 看護学におけるリプロダクティブ・ヘルスケア 講師:福島裕子(看護学部・教授)
 - 講座 5 14:45~16:00 IoTで変わる私たちの社会 講師:近藤信一(総合政策学部・准教授)
 - 8月5日(土) ■ 講座 6 13:00~14:15 企業が開示する情報を読み解くヒント 講師:齋藤香織(宮古短期大学部・講師)
 - 講座 7 14:45~16:00 岩手県における国際交流の現状とこれから 講師:佐藤智子(高等教育推進センター・教授)
- 全ての講座に手話通訳・要訳筆記通訳をご用意します。 ※講師・タイトルは変更となる場合がありますのでご了承ください。

平成29年度宮古短期大学部生涯学習講座 (宮古キャンパス講座)

宮古短期大学部では、地域貢献の一環として専任教員による生涯学習講座を実施しています。 【 開 催 期 間 】 6月28日~12月2日(全6講座) 受講料は無料、おひとり何講座でも受講可能です。たくさんのご参加をお待ちしております。 【 受 講 料 】 無料 【 開 催 場 所 】 岩手県立大学宮古キャンパス(宮古市河南1-5-1)

【お問合せ・お申込】 電話、ファックス、ハガキのいずれかの方法で、「宮古短期大学部事務局・生涯学習講座受付係」までお申込みください。ファックス・はがきでお申し込みされる場合は、●受講を希望される講座番号(複数可)●お名前・ご住所・電話番号●昼間や急ぎの際の連絡先をご記入の上、下記宛先までお送りください。TEL.0193-64-2230 FAX.0193-64-2234 郵送先/〒027-0039宮古市河南1-5-1宮古短期大学部事務局・生涯学習講座受付係

- 講座 1 6月28日(水) 18:30~20:00 親子で楽しむプログラミング講座(全1回) 講師:大志田憲(宮古短期大学部・准教授)
- 講座 2 7月 5日(水) 18:30~20:00 不正会計の実態と財務諸表分析の重要性(全2回) 講師:中川仁美(宮古短期大学部・講師)
- 7月 9日(日) 13:00~14:30
- 講座 3 7月14日(金) 18:30~20:00 簡単な電子制御プログラミング(全1回) 講師:昇高茂樹(宮古短期大学部・准教授)
- 講座 4 7月25日(火) 18:30~20:00 「人に人生あり、商品にもまた人生あり」~身近な事例で学ぶ経営学~(全1回) 講師:松田淳(宮古短期大学部・教授)
- 講座 5 [3級]11月6日(月)、11月13日(月) 18:00~20:00 日商簿記検定直前のまとめ(各級全2回) 講師:松本安司(宮古短期大学部・准教授)
- [2級]11月7日(火)、11月14日(火)
- 講座 6 12月1日(金) 18:30~20:00 インターネット時代の情報発信とセキュリティ対策(全2回) 講師:齋藤香織(宮古短期大学部・講師)
- 12月2日(土) 10:30~12:00

- 小松 一星 様
- 富樫 昭典 様
- 中村 絢子 様
- 橋本 正隆 様
- 元田 良孝 様
- 山村 勉 様

※ご寄附をお寄せいただいた皆様のうち、ホームページ等での公表についてご承諾いただいた方を掲載しております。

編集後記

年4回発行してきた広報誌は、今回の号をもって一区切りとなります。これまで発行にあたり、多くのご協力をいただき誠にありがとうございました。今後は装いも新たに年2回の広報誌と、隔月のweb版を発行予定です。岩手県立大学に携わるみなさんは、いつも一生懸命です。キラキラ光るみなさんの情報も、たくさん発信していければと思っています。ご意見・ご感想・情報のご提供お待ちしております。これからも、どうぞよろしくお願いたします。(企画室和山)

岩手県立大学のホットな情報発信中!

岩手県立大学では、お知らせやイベント情報などをリアルタイムに発信をするためTwitter公式アカウント【@IPU_official】、Facebook、YouTubeで情報提供を行なっています。是非、ご覧ください。



岩手県立大学 企画室
 Iwate Prefectural University

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52 TEL.019-694-2005 FAX.019-694-2001
 [URL] <http://www.iwate-pu.ac.jp/> [e-mail] management@ml.iwate-pu.ac.jp

- [看護学部]
- [社会福祉学部]
- [ソフトウェア情報学部]
- [総合政策学部]
- [盛岡短期大学部]
- [宮古短期大学部]
- [看護学研究所]
- [社会福祉学研究所]
- [ソフトウェア情報学研究所]
- [総合政策研究所]



あらゆるモノ・コトに興味のアンテナを張り、発想や表現の幅を広げていくことが目標。

「営業に頼られるディレクターになりたい」と話す宮下さん。綿密な打ち合わせから、アイデアのヒントを拾う。

高校時代は明確な目標がなかったのですが、デザイナーやウェブクリエイターに憧れていたこともあり、その周辺の勉強ができてと考えてソフトウェア情報学部へ。でも想像とは真逆で、授業はシステム系が中心…。特にプログラミングでかなり苦労したのですが、先生のアドバイスで苦手意識が変わったんです。

「プログラミングができれば、キミが好きな音楽にも新たな可能性を拓いていけるし、もっと深く研究を突き詰めることもできる」と。それからですね、苦手だと扉を閉ざすのではなく、様々なことに興味を持つようになっただけ。県立大学には大学院まで6年間通いましたが、自然豊かなキャンパスが好きでしたし、社会に役立つ基礎的な知識・技術を身につけられたのも良かったですね。

卒業後は、企画から関わる仕事がしたいと考えてDNPコミュニケーションデザインに就職。東京、仙台勤務を経て、盛岡オフィスであらゆる制作物のディレクション業務を担当しています。具体的に言うと、クライアントの要望を受けて、チラシからパンフレット、ウェブ、イベントまで戦略的に提案し、全体を統括するのが私の仕事。クリエイティブなことを何でもやる会社なので、企画次第でどんなことでも形にできますし、新しいことにどんどん挑戦できる面白さがあります。

まだキャリアが浅いため発想力と経験値が少ないのが課題ですが、社外スタッフとのやり取りで新たな視点を得たり、あらゆることに興味アンテナを張ることで自分の幅を広げていくことが目標。大好きな岩手のために、少しでも岩手の良さを伝えられる仕事ができれば嬉しいです。

ワタシ★アクション!

宮下 由香 Yuka Miyashita
 株式会社DNPコミュニケーションデザイン

1983年生、盛岡市出身。盛岡第二高校を卒業後、岩手県立大学ソフトウェア情報学部、同研究所へ進学。大学・大学院を通してヒューマンインターフェイス講座に所属し、人がモノを見る場所、順番、時間などに関わる目領域の研究に取り組んだ。趣味は登山と音楽。昨年は10回以上山に出かけ、いつか日本アルプスの山に登るのが夢。

...See You Next Action!

大学で学んだことを自分の糧としながら、様々な分野で活躍する県立大学の卒業生たち。それぞれの職場や地域で頑張っている卒業生の「ワタシアクション!」をご紹介します。

岩手県立大学の魅力を発信すべく日々活動する学生団体、キャンパスアテンダント(CA)。そんなCAたちがお送りする、県大生の県大生による県大生の今を伝えるためのコーナーです。バ(*´▽´*)♪

ケンダイ★広報局

学生★企画



めしスポちゃんねる

今回は県大生のランチ事情をお弁当派・学食派にそれぞれ取材しました!~(ω~)>

学食派



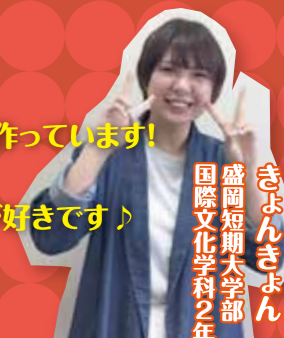
おかびー
 ソフトウェア情報学部2年

- Q1 予算はどれくらい?
A 500円以内です!
- Q2 何人で食べるの?
A 2,3人で食べる人が多いです。
- Q3 2階と3階、どちらを使う?
A 景色がきれいだし、麺ものの方が好きなので3階で食べます。
- Q4 好きなメニューは?
A おすすめは鶏白湯ラーメンです!!



豚ハツシロうどん
 サラダ
 チーズパン
 シュークリーム

- Q1 誰が作っている?
A 自分で作っています!
- Q2 調理時間はどれくらい?
A だいたい40分くらいで作っています!
- Q3 好きなおかずはなんですか?
A アスパラベーコン巻きが好きです!~



きよんきよん
 盛岡短期大学部
 国際文化学科2年



学食の職員さんに聞いた! 県大オープンキャンパス事情

オープンキャンパスでは「豚みぞ焼肉丼」「ネギ塩揚げ丼」「ヒレカツカレー」「ラーメン」の4種類のメニューと、気軽に食べられるソフトクリームやスパイシーポテトなど合計9種類を販売します!また、講堂前や購買では県大名物「あつこ弁当」が販売されます。高校生の皆さん、オープンキャンパスで一足早く学食デビューしてみてもは!?

みんなでわいわいおすすめスポット

社会福祉学部棟近くのベンチ
 室内で食べるのがもったいないくらい緑が多い
 県立大学!授業の合間にプチピクニックができますよ!
 (夏は虫除けスプレーが必須かも笑)



外で食べるならココ!

県大生憩いの場



ラウンジ
 友達とわいわいおしゃべりするならラウンジがおすすめ!ガラス張りになっているので明るく、とてもきれいです。お昼は学生で賑わいます!

Newおすすめスポット!



テラス
 図書館2階に新しくテラスができました!開放感があって、テーブルもとてもおしゃれです!カフェみたいな雰囲気が良いですね!



【Twitterアカウント】@IPUCA 岩手県立大学キャンパスアテンダント公式アカウント!!
 ※ツイート内容は大学の公式見解ではありません。大学生目線でCAメンバーがつぶやきます!!ハッシュタグは#ipu_ca